

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」の
令和4年度年次報告の作成方針（案）

地震火山観測研究計画部会では、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」の進捗状況の把握のため、実施機関別に実施計画（個別課題）に基づく成果等の報告を依頼し、それを取りまとめて年次報告【機関別】及び年次報告【成果の概要】を作成することとしている。

本年度の年次報告は、以下の手順でとりまとめる。

1. 基本的な考え方

- ・「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」に沿って創出された具体的な成果を、一般の方でも読みやすく分かりやすいように取りまとめる。
- ・令和4年度の成果が、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」における「5つの項目」及び「重点的に取り組む研究」の目的の達成にどのように貢献するのかが分かりやすいように取りまとめる。

2. 年次報告【機関別】の作成方針

(1) 課題別成果の報告様式

- ・ 例年と同様の様式を用いる。
- ・ 報告を求める内容：
 - 令和4年度の成果の概要
 - ※「関連の深い建議の項目」（該当する場合は、「その他関連する建議の項目」及び関連する「総合的研究」）の目的の達成にどのように貢献するのかを明記する
 - ※「災害の軽減に貢献する」という目標に対する当該研究成果の位置づけと今後の展望について、可能であれば記述する
 - 令和4年度の成果に関連の深いもので、令和4年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）
 - 令和4年度に実施した調査・観測や開発したソフトウェア等のメタ情報
 - 令和5年度実施計画の概要

(2) 課題別成果の報告方法

- ・ オンライン入力システムを用いる。

(3) 取りまとめ方法

- ・ 各機関が作成した機関別報告案を地震火山観測研究計画部会において取りまとめる。

3. 年次報告【成果の概要】の作成方針

(1) 構成

【成果の概要】

- ・はじめに
- ・令和4年度の成果の概要
 - 顕著な地震・火山噴火(近年発生したもの、重要なターゲットとしているもの)に関して得られた重要な成果を報告するほか、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第2次)」の実施内容を項目別に取りまとめて報告。
- ・まとめ
- ・用語解説
- ・実施機関、研究課題一覧

【参考資料】

- ・建議の概要
 - 項目別概要(地震・火山噴火予知研究協議会計画推進部会)

(2) 取りまとめ方法

- ・第12期の成果の概要取りまとめ委員を中心に地震・火山噴火予知研究協議会及び関係機関の協力を得て草稿を作成し、地震火山観測研究計画部会において取りまとめる。

4. 日程

令和4年

- 9月27日 測地学分科会(第46回)・地震火山観測研究計画部会(第47回)合同会議
- ・令和3年度年次報告の作成方針について審議
- 12月下旬 オンライン入力システムの準備
- ・地震・火山噴火予知研究協議会に依頼

令和5年

- 1月上旬 各機関に課題別成果報告の作成依頼
- 2月中旬 課題別成果報告の締め切り
- 3月6~8日 令和4年度成果報告シンポジウム
- 3月~4月 令和4年度年次報告【機関別】の作成依頼
- 5月~6月 地震火山観測研究計画部会
- ・令和4年度年次報告【機関別】の取りまとめ
 - ・地震火山観測研究計画部会の承認後、事務局でHP掲載
- 8月~9月 地震火山観測研究計画部会
- ・令和4年度年次報告【成果の概要】の取りまとめ
 - ・地震火山観測研究計画部会の承認後、事務局でHP掲載及び印刷・配布